# 骨髄バンク 2011年1月 会報46号

会報発行：**骨髄バンクを支援するいばらきの会**　http://ibaraki.marrowjp.net/
発行責任者：伊井義人　　編集：小田倉孝夫・福間究
＜事務局＞〒305-0031　茨城県つくば市吾妻3-1-1-913福間宅
TEL : 029-856-7881 / FAX : 020-4668-5485 / E-mail: bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

# 新年のご挨拶

会長　伊井義人

皆さま、新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

当会は本年９月で丸１３年となりますが、公的骨髄バンクは発足２０周年を迎えます。
これまでドナー登録者は延べ約４８５，０００名の方々に登録をいただき、現在の登録者数は約３７５，０００名となっています。骨髄移植件数も１２，０００例を超えており、最近では月間約１００例のペースで実施されています。
我が茨城県ではどうかというと、昨年１１月末の時点で登録者数７，４７２名、移植件数２１５例と、まだまだ全国平均には及ばないのが現状です。
しかしながら、今年度のドナー登録会の実績として、２１回で３４５名の方々に登録をいただくなど、登録会が抜群の効果を上げていることは言うまでもありません。
これもひとえに県薬務課及び各保健所並びに血液センターの皆さまのご尽力、ご協力と、当会会員の皆さまのお力添えによるものであり、心から感謝申し上げます。
さて、本年からは、いよいよ末梢血幹細胞移植が実施されます。
これまでドナーの方からの採取方法としては腸骨からの骨髄採取のみでしたが、今後は全身を流れる血液（末梢血）に造血幹細胞が流れ出す薬（G-CSF）を注射し、造血幹細胞が増えたところで成分献血を行うような方法で造血幹細胞を採取する方法も可能となります。
これによって、全身麻酔が不要であったり、腰椎手術の方でもドナー登録が可能となるなど、これまで以上にドナー登録が増えることが予想されます。
もちろん末梢血幹細胞移植のデメリットも否定できませんが、確実に患者さんにとってチャンスが広がることになるでしょう。
このように新たな選択肢も加わった本年ですが、一人でも多くの患者さんに生きるチャンスを与えられるよう、今後も皆さま方と共に、「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」のモットーの下、私自身も気合いを入れていきたいと思いますので、どうか皆さま、よろしくお願い申し上げます。

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# 謹　賀　新　年

財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 正岡　徹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、ドナー登録者が３７万５千人に達し、骨髄移植件数も、累計で１万２千４百例となりました。
これらは、骨髄バンク関係者の皆様のご尽力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。
また、昨年１０月には、これまでの骨髄移植に加え、新たに末梢血幹細胞移植が導入されました。

なお、今後の全国展開のためには、コンピューターシステムの構築が必須でありますが、そのための来年度予算が政府予算で認められました。来年度に構築して、再来年度から全国的に展開できればと考えています。
これにより患者さんやドナーさんの選択の機会が確保されていくものと思います。

今年は、３年ぶりにACジャパンの支援が再開されることとなり、骨髄バンク事業へ、より一層の国民の皆様のご理解を進めていただけることと思います。また、今年１２月には、財団設立２０周年を迎えることとなり、これまでの皆様のご支援に心より感謝申し上げるとともに、今後を考える機会になればと考えています。
さらに、新しい公益法人への衣替えへ向けて準備を進めており、早ければ、今年のうちに新公益法人への移行を図りたいと考えております。
今後もドナー登録を推進し、より一層のコーディネート期間の短縮やドナー安全対策の強化を図り、骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんに、一人でも多く移植の機会が訪れますよう、努力を続けてまいります。
これからも、これら移植を必要とする患者さんのため、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# 10月～12月　茨城県内イベント登録会等報告

## １０月２０日　筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数　　３３名　（受付　　３５名）
献　血　者　数　　７６名　（受付　１１４名）
参　　加　　者　　つくば保健所：岡田様
いばらきの会　　茛原さん、長尾さん、藤岡さん、栗島さん、福間明子さん
地区普及広報委員　福間究

肌寒く、小雨のぱらついた登録会でした。献血バスは午後から２台になる予定でしたが、実際は朝から２台でしたので献血者が増えると期待していました。
しかし、午前中は授業のため学生さんの献血も少なかったですが、午後から献血者も増え、バンク登録も３０人を超えることが出来ました。
最近の筑波大学登録会はドナー登録者が毎．回３０人を超える状況が続いていますので、来年も期待したいと思います。

（福間　究）

## １０月２４日　建設フェスタ献血併行登録会

ドナー登録者数　　２０名　（受付　　２３名）
献　血　者　数　　５５名　（受付　　８５名）
参　　加　　者　　常陸大宮保健所　悉知　様
いばらきの会　　茛原さん、長尾さん、和田さん
地区普及広報委員　伊井義人

毎年開催場所が変わる建設フェスタですが、今年の会場も敷地が広く、特に地面は草で覆われていて、子供が走り回って転んでも怪我の心配がないような会場でした。
お天気も朝方は若干晴れ間がありましたが、その後はずっと曇り空。気温もちょうど良い具合で、過ごしやすい一日でした。

献血のブースは、駐車場からの入口にあり、ほとんどの方がこの前を通っていたと思われます。そのためか、用意したチラシは午前中で無くなり、午後は県パンフにアサガオの種を組み合わせて呼びかけを行いました。

また、中央ステージ上で、献血と骨髄バンクのマイク呼びかけもやらせていただきました。
司会者の方は毎年同じ方で、バンクのこともかなりご存じで、私の言い足りない分をフォローして下さるなど強力な存在です。
午後になって、恒例のチャリティオークションでは、「いばらきの会」から出品したジャイアンツの「ジャビット人形」３個や、財団からいただいた東野投手、越智投手の直筆サイン入りのポストカード３枚を、他の企業の品物と一緒に８つの組み合わせにし、オークションに掛けられました。

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

## １０月～１２月　茨城県内イベント登録会等報告

ジャイアンツファンの子供さんを持つご家族が競り勝ち、満面の笑みを浮かべていました。
（添付写真はご家族の了解を頂いてます）

オークション総額は６万円台だったそうで、収益は慈善事業の団体に主催者からの寄付となるとの説明がありました。
バンク登録の方は午前中７名でしたが、午後になり献血者も徐々に増えてきて、比例するようにバンク登録者も増え、結果として２０名の登録者となりました。
参加された皆さま、大変お疲れ様でした。（伊井義人）

### １０月２６日　イオンモール水戸内原店献血併行登録会

ドナー登録者数　　１８名　（受付　１８名）
献　血　者　数　　３１名　（受付　４７名）
参　　加　　者　　水戸保健所　田邊様
いばらきの会　　福間さん、葭原さん
地区普及広報委員　伊井義人

献血が行われる場所は、毎回イオンモールの中でもあまり人通りが多くない場所で、また、国道から見て裏手に位置するクリニックのエリアの近くです。
そのためか、午前中は献血者９人、ドナー登録者３人という、惨たんたる状況でした。
午後になり、徐々に献血に来られる方も増え始めましたが、やはり平日ということもあり、女性の方が目立ち、バンク登録も午前午後をとおしてほとんどが女性でした。
また、１８才になったばかりの女子高校生が、就職試験の帰りに献血に訪れバンク登録もして下さり、思わず就職が決まりますようにと祈っていました。
結果として１８名の方に登録していただきました。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。（伊井義人）

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# 10月～12月　茨城県内イベント登録会等報告

## １１月日　鹿嶋市役所第一庁舎献血併行登録会

ドナー登録者数　　８名　（受付　　９名）
献　血　者　数　　５８名　（受付　７４名）
参　　加　　者　　潮来保健所：高安　様、井坂　様
いばらきの会　　福間さん
地区普及広報委員　葭原健治

登録会開始直後は、風が強かったのですが、日が差してそれほど寒くはありませんでした。
献血ならびに登録会の配置は、市役所第一庁舎入口外に献血バスが横付けで、献血受付、問診、バンク受付・説明および鹿嶋ライオンズクラブの方々と入りロロビーで行いました。
午前中はゆっくりな出足でしたが、骨髄ドナー登録者の説明に保健所方に応援をお願いする状況がありこれはという感じでしたが、午後は申込者が増えず少しさびしい結果となってしまいました。献血申し込みする方も午後は少なめで、混雑することはありませんでしたが、３時過ぎに申し込みが殺到し混雑した程度で、骨髄ドナー登録者はほとんどありませんでした。
今回は、呼びかけ時に既登録という方は、２名ほどでした。登録会参加お疲れ様でした。ならびに当日ご協力していただいた方々に感謝いたします。　（葭原健治）

## １１月４日　京三電機本社第一工場献血併行登録会

ドナー登録者数　　８名
献　血　者　数　　２５名
地区普及広報委員　細谷栄一
※詳細は都合により割愛させて頂きます。

## １１月９日　日本メクトロン奥原工場献血併行登録会

ドナー登録者数　　１４名　（受付　１７名）
献　血　者　数　　４７名　（受付　５６名）
参　　加　　者　　竜ヶ崎保健所：小守谷様、井関様
いばらきの会　　福間さん、葭原さん
地区普及広報委員　牛島英二

屋外にテントを設営しての登録会でしたが、午前中は好天に恵まれ日差しが暖かく、献血者の出足も好調で、昼休み時間も受付を行ったこともあり、登録者数も午前中で１０名と好調でした。
午後からは曇り空となり、やや強い風が出て肌寒くなりました。
献血の方は順調に数を伸ばしていましたが、登録者数は既に登録済みの方が多く（結果として１２名）午後の受付では４名と低調で、合計１４名の登録者数となりました。前回昨年５月の実績は１５名でしたのでほぼ前回並みの結果となりました。（牛島英二）

## １１月１５日　京三電機第二工場献血併行登録会

ドナー登録者数　　２名
献　血　者　数　　１５名
参　　加　　者　　古河保健所：村田様
いばらきの会　　葭原さん
地区普及広報委員　福間　究

急きょ追加開催した半日だけの登録会でしたが、残念ながら献血者もドナー登録も少ない結果でした。やはり献血の人がいないとドナー登録も増えない状況です。（福間　究）

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# １０月～１２月　茨城県内イベント登録会等報告

## １１月１７日　かわねやフェスタ店献血併行登録会

ドナー登録者数　　１４名　（受付　１５名）
献　血　者　数　　６８名　（受付　８３名）
参　　加　　者　　常陸大宮保健所　悉知　様
いばらきの会　　福間さん、葭原さん、長尾さん、伊井陽子さん
地区普及広報委員　伊井義人

ここでの登録会は２年ぶりでしたが、今年は朝から小雨がパラつくとても寒い一日となりました。雨のせいか、フェスタ店に来られる方々はあまり多くなく、そのうち献血に来られる方も多くの方がバンク登録には年齢超過で、なかなか登録者も増えません。結局午前中は登録者は４名ほどでした。献血バスは２台で昼休みなしの体制のため、我々は交代で昼食を取りながら、声掛け、チラシ配りを続けました。１時前頃から徐々に献血者も増え始め、バンク適応年齢の方々も増えてきました。結果としては１４名の方に登録を頂きました。特に、消防署のレスキュー隊の若手３名が隊長？の一言で登録して下さったのが印象的でした。雨で気温が上がらない中、血液センターさんのお計らいで、テントの横幕をバンクのテントにも張って下さり、また、牛島さんから回して頂いたストーブのお陰で、かなり寒さをしのぐ事ができました。ただ、寒い中、フェスタ店入り口で長時間チラシを配っていた福間さん、葭原さんには申し訳ない気持ちでいっぱいです。参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。（伊井義人）

## １１月１７日　キヤノンセミコンダクターエクイップメント献血併行登録会

ドナー登録者数　　１６名
献　血　者　数　　３３名　（受付　３８名）
参　　加　　者　　筑西保健所　深澤様
いばらきの会　　葭原さん、福間明子さん
地区普及広報委員　福間　究

午前中は献血に来られた５４歳以下の男性の方６人全員がドナー登録して下さり順調な出だしでしたので、午後も期待しましたが、残念ながら献血者が思ったより少ない状態でした。
それでも１６人の方に登録していただきました。なお、今回の献血・登録会の会場はキヤノンセミコンダクターエクイップメント（株）でしたが、道路をはさんだ向かいのキャノンエコロジーインダストリー（株）との合同の献血・登録会で、キヤノンエコロジーインダストリー（株）の方が従業員も若い人も多いそうです。（福間　究）

## １２月１３日　京三電機結城工場献血併行登録会

ドナー登録者数　　５名
献　血　者　数　　１１名
地区普及広報委員　細谷栄一
※詳細は都合により割愛させて頂きます。

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# 10月～12月　茨城県内イベント登録会等報告

## １２月１４日　ジョイフル本田荒川沖店献血併行登録会

ドナー登録者数　　２名　（受付　　２名）
献　血　者　数　　３４名　（受付　４４名）
参　　加　　者　　土浦保健所　藤村様
いばらきの会　　福間さん、鈴木さん
地区普及広報委員　葭原健治

登録会開始時は、雨も風もなくそれほど寒くはありませんでしたが、１０時頃から雨が降り出し午後１時頃には、雨もやみ、太陽が顔を出しましたが、終了時間前には曇天になり寒くなってしまいました。
献血会場は人通りの少ない場所で、午前中は、ドナー登録者が０人という結果になりました。
福間さんが人の多いところで一日中パンフレットを配布をがんばってくれたのですが、結果として２名になってしまいました。
久しぶりに参加していただいた鈴木さんには、活躍の場がなくて残念なことになってしまいました。献血申し込みする方も午前は少なめで、午後になってもそれほど混雑することもなく、寒くさびしい一日でした。そんななか、永遠の課題？に触れられ元気をなくしました。
それは、せっかく献血しに来たのに昼休みとは何事？善意でくるのにおかしいのじゃないのかとかなりしつこく食い下がられました。何とか説明して納得いただいたようですが・・
今年最後の登録会でさびしい結果でしたが、参加された皆様、お疲れ様でした。
ならびに当日ご協力していただいた方々に感謝いたします。（葭原健治）

## ***◇骨髄移植推進財団説明員研修会参加報告***

１２月３日、説明員研修会が東京で開催されました。
要旨としては・・

１・来年１月の登録会から抹消血幹細胞移植（ＰＢＳＣＴ）の説明をすることになります。
　その為、「チャンス」や「解説グラビア」が変更されます。改訂版ができしだい財団から送付してくると思います。
２・抹消血幹細胞移植の実施には次の段階があります。
　・第１段階：　限定的実施・・・数ヶ月間
　・第２段階：　多少拡大
　・第３段階：　システム化・本格化・・・平成２４年度よりの予定
３・本格的実施はまだ先ですので、来年１月の登録会から骨髄移植と抹消血幹細胞移植の説明はしますが、その時、抹消血幹細胞移植はまだ先になることを説明することになります。
４・登録できない条件から、「椎間板ヘルニア等で腰に手術を受けたことがある方」が削除されます。ただ、当面は骨髄移植がほとんどですので、椎間板ヘルニア等で腰に手術を受けたことがある方がドナーになる機会は少ないです。
５・過度の肥満の方（ＢＭＩが３０を超える方）は登録できないと規定されていますが、実際にドナーになるときの話だからと、重視していませんでしたが、今日の説明会でドナー登録時のＢＭＩで判断するようにと注意がありました。
６・ドナー登録会等で発生した費用を財団に請求しますが、請求が遅くならないように注意がありました。詳細は財団からの資料を参照ください。（福間　究）

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# １０月～１２月　茨城県内イベント登録会等報告

## ◇*「茨城県建設未来協議会」様からご寄付を頂きました*

毎年、建設フェスタ献血並行登録会でお世話になっています「茨城県建設未来協議会」様から今年も寄付を頂きました。
１２月１日水戸の茨城県建設業協会会議室において、大貫会長、鶴田副会長、山崎地域貢献活動委員長から贈呈を受けました。
懇談では大貫会長から「ドナー登録が目標の３０万人に達したなら、次の目標を具体的数値で再設定すべき」との苦言を受け、骨髄バンクに強い関心を持っていただいていることを感じました。（福間　究）

写真は、右から鶴田副会長、大貫会長、福間、山崎地域貢献活動委員長

## ***◇血液疾患市民公開セミナー参加報告***

〇去る１０月１１日、血液疾患市民公開セミナーがつくば市で開催され、患者本人、ご家族の方々が多数参加されました。

茨城県立こども病院院長の土田昌宏先生の総論では、沢山の映像を見せていただきましたが、中でも印象深かったのは幹細胞が生体内で増殖し活動している様子です。
世界的にもとても貴重な映像のようですが、とても感激してしまいました。
分科会では、それぞれの疾患に分かれ、講師の先生や看護師長さんから治療法や今後期待される薬剤、日常生活で気をつけたい事などのお話がありました。
血液疾患の治療は、長期にわたる場合が多く、治療法も抗がん剤や分子標的薬、移植治療と多様ですから、外来の際に主治医の先生とのコミュニケーションも大切ですが、こうしたセミナーで得られる情報も自分の病気を知る良い機会だと思います。
参加された皆さんは、病気と向き合う厳しさの中にも少しでもプラスの要素を持って帰る事が出来たのではないかと感じました。
（筑波大学附属院　院内血内患者会　たんぽぽ　世話人、いばらきの会　栗島　和江）

〇血液疾患セミナーに初めて参加してきました。
総論で茨城県立こども病院の院長先生そして、土浦協同病院ガンセンターの看護師長さんが来るという事を聞いて、私が当時とてもお世話になっていた方々の話しを聞けるこんな機会はないと思い母と行きました。
会場の入口で福間さんと、チャンスの配布をしていたら知り合いの看護師さん達にも会う事ができて今の私の元気な姿を見せる事もできとても良かったです。
総論では私が知らなかった事も聞けたし、分科別のセミナーで小児白血病を選択し、静岡県立こども病院の先生の話しを聞き私が不安に思っている、子供から大人になり小児科から成人科(内科)

に変わらなくてはいけない事へのフォローアップの問題等ちゃんと考えてくれてるんだとわかる事ができ安心したのですが、今現在まだこども病院へ受診していて主治医を信頼しきっている私には「この先信頼できるドクターと出会えるのか？」等と現実を考えさせられた大切なセミナーでもありました。
このようなセミナーがまたあったら積極的に参加して知識を増やし自分の為はもちろん、同じ様な悩みを持つ方達へサポート役として活かせたら私にとっても、もっともっとプラスになり、成長していけると思いました。（和田 かず美）

### ◇水戸医師会看護学院講演会参加報告

〇私としては毎年恒例になりました１２月のたった数時間ですが、講師業務に今年も行かせて頂きました。
准看護科の一年生へ「看護と倫理・医師、看護師とのかかわり」という授業内容で、弓野さんと闘病中の出来事や、入院生活での看護の様子等を話してきました。
今年の担任の先生方は、私達の事も「さん」付けではなく「先生！」と呼んでくれて初めて大勢の前で先生と言われると恥ずかしさもありちょっとテンションがあがってしまいました（笑）嬉しかったです。
今年度の一年生はハイレベルな方ばかりだそうで、薬剤師や心理学の資格をお持ちにもかかわらず看護師と言う更に上を目指す本当に素晴らしい方々でした。
毎年話しの途中で寝てしまう人が多いなか、今年は誰ひとり下をむいている人がいなく、真剣にメモをとりながら聞いてくれて沢山の人が涙をながしうなずきながら聞いてくださり私も一生懸命伝えなきゃとこちらも熱くなりました。
話が終わった後一人の生徒さんがお礼の言葉を言って頂き胸が熱くなると共に込み上げてくるものがあり、今年で６年目でしたがこんな経験、思いを頂いたのは初めてでした。
私達こそ、こういった経験をさせてもらって感謝しています。
この貴重な体験を是非他の移植患者さんにも体験していただきたいと今年は特に強く思いました
（和田 かず美）

〇水戸看護学校で私の闘病経験について講演をしました。
看護学校の先生達はとても気さくな方で、講演前の私達の緊張感を会話を通してほぐしていただいき、落ち着いた講演が出来たと思います。
講演では、私の発病時の様子や病気の治療法、治療中に現れた副作用についてお話ししました。
また、再発により骨髄移植が必要になり、幸運にもドナーが見つかり移植することができた事や、家族・親戚、ドナーさんをはじめ医師、看護師の助けや励ましがなければ私はここまで元気になれなかったことについてもお話ししました。
私達の講演中、先生や学生の皆さんは真剣に私達の話を聞いてくださいました。
学生の皆さんには、患者さんから信頼を得て、安心を与えられるような准看護師になって欲しいと思いました。（弓野未来）

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

## ☆トピックス
筑波大学におけるＧＶＨＤの研究

現在、筑波大学にてＧＶＨＤに関する研究が行われているようです。
これらの研究で大きく前進すると良いと思います。
（以下毎日新聞記事より転載）
骨髄移植：合併症、特定分子が関与　筑波大が動物実験　働き抑える新療法白血病治療に伴う骨髄移植の合併症のうち、半数以上が発症するといわれる急性移植片対宿主病（ＧＶＨＤ）の発症メカニズムを渋谷彰・筑波大教授のチームが動物実験で突き止め、１９日発表した。特定の分子の働きを抑えることでＧＶＨＤを防げるため、骨髄提供を待つ血液がん患者と提供者（ドナー）との白血球型の一致度が多少異なっても移植成功の可能性が大きいという。
チームは、血液中のリンパ球にもともと存在する特定の分子（ＤＮＡＭ－１）がＧＶＨＤ発症にかかわっていることを見つけた。この分子はがん細胞を殺すキラーＴ細胞の表面に現れてがんを攻撃する半面、患者の正常な肝臓や小腸などの細胞も攻撃してしまうことも分かった。実験では、ドナー役と患者役で白血球の型が５０％異なるマウスの間で骨髄移植を実施し、重度のＧＶＨＤを発症させた。ＤＮＡＭ－１の働きを抑える抗体を１回投与すると、９０日後の生存率は約８０％に達し、投与しなかったマウスの約１０％を大きく上回った。渋谷教授は「一つの分子を標的に絞った療法で、人間にも適用できると確信している」と話す。

## ☆築地がんセンター訪問
患者会たんぽぽの院外患者会として　平成２２年６月に東京築地のがんセンター訪問見学を行いました。（これは　私たちの主旨を理解していただき特別に許可をいただいたもので　普段は入れません。）
梅雨入りかと心配しましたが　天気にとても恵まれ晴れ。心配とは無縁のとても暑い一日となりました。振り返れば猛暑の夏はすでのこの時始まっていたのですね。
歩行者天国の銀座を通り　築地へ移動　そしてまるでホテルのようながんセンターのたたずまい。最上階で　築地市場　浜離宮　レインボーブリッジ　の絶景を見ながら　入室の許可の時間を待ってのしばしおしゃべり会でした。
無菌病棟内見学は　病棟看護師長さんが　勤務外に来てくださいまして　直接案内説明いただきました。

病棟入口から　許可家族以外は入室禁止の無菌体制　廊下もカンファレンス室も全てです。（←つまり病棟フロアー全体が無菌室ということ。）広い病棟の中　無菌ベッドは２６床！！（ちなみに筑波大は３床です。）設備はもちろんなのですが　何よりも　掃除清掃が行き届き素晴らしかったです。そこが１３年の時間が経つ　病棟だとはとても信じられない程でした。清掃は徹底的に教育をしているとのこと。
医師看護師の他にもチーム医療が行き届いていて　薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、が個別に　患者さんのベッドを直接定期的に訪れ　具体的に対処してくださいます。疼痛に対する緩和ケアもなされます（どんなにか　闘病の辛さが軽減される事でしょう！）
移植治療で　病院食がなかなか食べられない時に　無理をせず少しでも食欲が出るようにと　病院食にはとても出てこないような　おやつ感覚の特別な軽食も用意されその時の気分で自由に選べるとのこと。
ここまで書くと　なんだかＶＩＰ扱いのようですが一方では患者さんが移植中の闘病中といえども「お風呂の掃除も患者さんに自分でやっていただきますよ」との事。

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

これには正直驚きましたが　その理由を尋ねましたら退院後は自分の生活がすぐ待っているのです。そのための自立を促す目的で清掃や運動は体調が可能ならば積極的にやってもらっているそうです。
廊下には　エアロバイク、長い廊下では皆さん　退院に備えて歩いて運動していらっしゃるそうです。

生死と隣り合わせと考えてしまう無菌病棟はそこにはありませんでした。環境の良さそして病棟運営のレベルの高さにため息がでました。
患者さんのQOLだけでなく　こういう環境の中での治療は実際の治療効果も上がるだろうなそう思わせるものがたくさんありました。

今回の経験を患者の声としてこれからの患者さんのために活かしていきたいです。
今建築中の新しい筑波大付属病院に　是非とも期待したいものです。そして何よりも全国のドナーさんの善意、すべての移植治療がきっとうまくいきますように。

（筑波大学附属院　院内血内患者会たんぽぽ　世話人　藤岡純子）

## ☆ *今年も行いました！！「水戸こども病院訪問」*

例年この時期になると、インフルエンザやノロウイルスなどの関係で病室入室制限などがありギリギリまで「今年はどうかな～？？」と心配されましたが、一部制限はあったものの無事訪問することが出来ました。支援室、看護スタッフの皆様に支援頂きながら多くの子供たちにプレゼントを渡すことが出来ました。スタッフの皆様はじめ、毎年、プレゼントの袋詰めなどにご協力を頂きましたイオン様にこの場をお借りして御礼申し上げます。
来年も訪問w予定しておりますので皆様のご参加をお待ちしております。（小田倉孝夫）

参加者：伊井さん、福間さん、川井さん、和田さん、小田倉

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

骨髄バンクのボランティアを応援してください
骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。
郵便振替口座名義：00110-3-127575
加入者名義：骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ
***心のこもったご寄付をありがとうございました。（２０１０．１０．２５～２０１１．２．１０）***

後藤カツ子様　（5,０００円）
建設未来協議会様　（３６,９００円）
石岡小学校屋内温水プール様　（1,７３５円）

ドナー登録は１８歳から５４歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。１人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髄移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。http://www.jmdp.or.jp/index.html

編集後記
○例年以上に寒さが厳しい季節となりました
　皆様も体調の変化にお気をつけください。

（編集担当　小田倉孝夫）

**日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数：376,237人（県内8,612人）**
**骨髄移植希望者（患者数）：2,879人（海外1，422　県内34人）**
**バンクを通じての移植例数：12,498例（海外201県内移植数215例、県内採取数244例）**
**（2010年12月末現在）**

**（財）骨髄移植推進財団　ホームページ　http://www.jmdp.or.jp**
**ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは**
**財団フリーダイヤル　0120-445-445　または　ドナーズネット　http://donorsnet.net　まで**

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**